広島市立大学 国際学部 公開講座 UNHCR WILL 2 LIVE Cinemaパートナーズ上映会

ヒロシマから難民問題に向きあう

映画「女を修理する男」鑑賞会



La colère d'Hippocrate

2018ノーベル平和賞受賞者 ムクウェゲ医師の闘い 〜性暴力の犠牲者を癒やすヒポクラテスの怒り〜

講師:吉田 晴彦 (国際学部教授)





フィリッポ・グランディ第 11 代国連難民高等弁務官





国際学部と UNHCRのご縁





広島市立大学で講演するグランディ高等弁務官



-ベル平和賞2018

人権活動家:ムクウェゲ氏とムラド氏

▽性暴力を受けた女性の治療に長年あたってきた コンゴ民主共和国の医師:デニ・ムクウェゲさん

'自らも過激派組織ISによる性暴力を受けながら、 その実態を訴えてきたイラクの人権活動家: ディア・ムラドさん















デニ・ムクウェゲ氏とは

- 1955年3月1日生まれ(65歳)
- ベルギー領コンゴ(当時:現コンゴ民主共和国=DRC) ブカヴ出身(現・南キヴ州の州都)
- ブルンジの大学で医学を、その後フランスで産婦人科学を学ぶ
- 帰国後、専門的医療を受けられずにいた女性たちの 治療を開始、1999年パンジ病院設立
- 2006年初めて国連で演説。2012年国連で演説で DRCにおける大規模強姦被害を告発後、同年武装勢力に襲撃を受け、ヨーロッパに亡命、パンジ病院荒廃
- 2013年ブカヴに帰還、以後ノーベル平和賞有力候補に…



コンゴ民主共和国とは

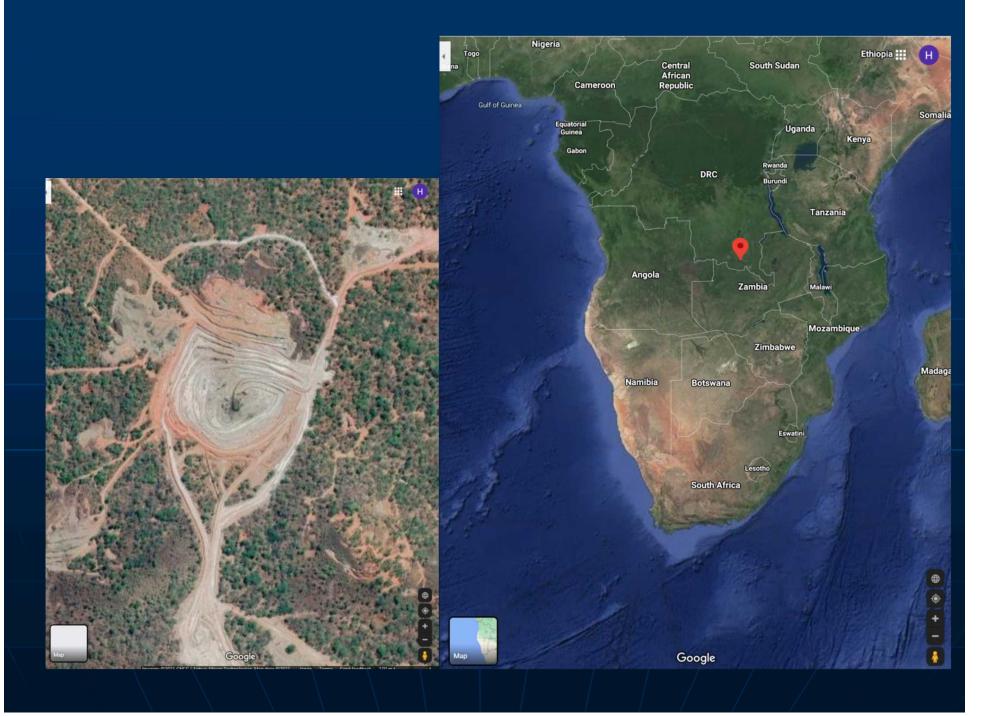
- 旧国名「ザイール」(1971-1997)
- 首都: キンシャサ(最大の都市)
- アフリカ第2の面積(234.5万km²)
- 人口:9,132万人(2021年2月13日推計値) worldometer
- 資源に富みながら、絶えぬ紛争に巻き込まれ、 世界の最貧国の一つ
 - 一人当たりの所得: 530ドル/年(GNI)2019世銀データによる
 - ■歴史的な部族対立に加え、天然資源をめぐる武装勢力の対立、 周辺国の介入などにより、不安定な国内/国際情勢、世界最大の 避難民国



広島とDRCの思わぬご縁...

- シンコロブエ鉱山
 - DRC・カタンガ州にかつて存在
 - 1960年代まで、世界有数の ウラン鉱山
 - 1950年頃まで、アメリカはウラン 需要の9割をベルギー領コンゴ (現DRC)に依存
 - ●マンハッタン計画時、ここで採掘されたウランが米国に提供され、原子爆弾を製造、広島・長崎に投下
 - 2004年、ここから採掘されたウランを使ったと見られる 100kgものイエローケーキが押収され、話題に...





誤訳:「もう一つのノーベル賞」

- ライト・ライブリフッド賞
 - 1980年 スウェーデンで創設
 - ●「現在最も切羽詰まったグローバルな問題に対し、 実際的・模範的な解答を示したもの」を表彰



https://www.rightlivelihood award.org/

We honour and support courageous people solving global problems.



 Service d'Accompagnement et de Renforcement des Capacités d'Autopromotion de la Femme au Sud-Kivu

> (南キブ州女性の自立とエンパワーメント支援事業) 性暴力被害者の支援団体として活動

国連の平和維持部隊

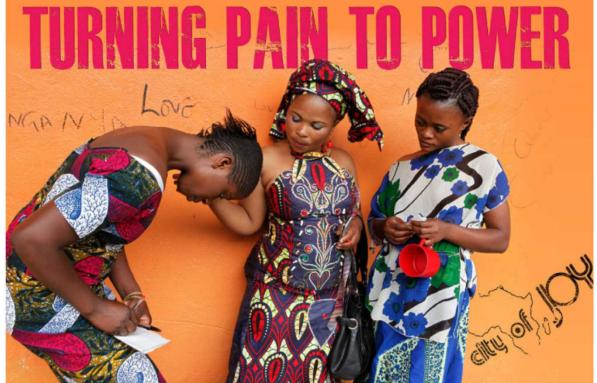
- いわゆるPKO(UN Peace Keeping Operations)
- 国連コンゴ民主共和国安定化ミッション (MONUSCO)2010年7月~現在も延長継続中
- ■コンゴ民主共和国及び外国の武装集団による 脅威の軽減、国家制度の一立と安定化を目的 として、コンゴ民主共和国に派遣されている PKO部隊
 - 17000人弱を派遣
 - 2017年12月、武装勢力の襲撃を受け、15人が
 死亡する惨事に

 https://monusco.unmissions.org/en/about



HISBERT

CONTINUE TO THE CITY OF JOY SITE>



TO DATE 129
WOMEN HAVE
GRADUATED
FROM THE
CITY OF JOY

Since opening its doors in 2011, 1294 women have graduated from the CITY OF JOY, healed themselves, been nurtured, learned new skills, empowered themselves and joined into a network of love and revolution. These women have released massive trauma and horrific memories. They have danced, sung, learned their rights, performed plays, developed agricultural skills, come to love their bodies. They have become leaders in their communities. They are no longer stigmatized for being raped.

These women are forces of energy and determination, entrepreneurs of small businesses, initiators of collectives, restaurants owners, farmers with new land, educators and advocates on sexual violence, volunteers in a self-created recruiting network for new women at the center, journalists, immigration workers, tailors, students, herbalists. The list goes on. 42 graduates are employed at V.World Farm, a large sustainable farm run by

house // www.cityofjoycongo.org

City of Joy serves 90 survivors of gender violence aged 18 to 30 at a time.







AROUT CITY OF JOY

- » ORIGINS OF THE CITY OF JOY
- » VAGINA WARRIOR PROGRAM
- * LIFE AT THE CITY OF JOY
- » WHY IT'S NEEDED
- » WHY CONGO?
- » PROGRAM PHILOSOPHY: WHAT MAKES

IT DIFFERENT

» WHAT DOES THE CITY OF JOY LOOK

LIKE?

10 GUIDING PRINCIPLES

MEET THE PEOPLE OF CITY OF JOY

V-WORLD FARM

V-DAY'S HISTORY IN CONGO

PRESS ROOM

HOW YOU CAN HELP

BLOG: FROM BUKAVU AND BEYOND

CITY OF JOY: THE FILM

DONATE

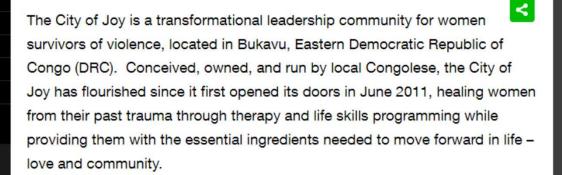
SEARCH



When women first



ABOUT CITY OF JOY



Serving 90 survivors of gender violence aged 18 to 30 at a time, City of Joy has graduated over 1200 women leaders since it opened in 2011.

サハロフ賞

- ■正式名称「思想と自由のためのサハロフ賞」
- 1988年欧州議会が創設
- ソ連の物理学者で、水爆を開発し、後に人権活動家としてノーベル平和賞を受賞した、アンドレイ・サハロフ氏に由来。
 - 良心と勇気に基づく発言は人々の 尊敬を集め、「ペレストロイカの父」 と称された



難民とは…?

- 1951年「難民の地位に関する条約」で定義
 - 1967年「難民の地位に関する議定書」で地理的・時間的制約を除去
 - 「人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいると迫害を受けるかあるいは迫害を受ける おそれがあるために他国に逃れた」人々
- 今日、政治的な迫害のほか、武力紛争や人権侵害などを逃れるために国境を越えて他国に庇護を求めた人々を指す
- 国内避難民 (Internally Displaced Persons: IDPs)
 - 紛争などによって住み慣れた家を追われたが、国内にとどまっている、 あるいは国境を越えずに避難生活を送っている人々
 - ※国際条約上は難民として保護されない
 - ※苦境は難民と変わらないことから、共通の支援策がとられるように
- 両者を合わせると既に8000万人超(2020年12月現在 UNHCR発表)

参考資料

- ムクウェゲ, デニ 著、加藤かおり訳(2019)『全ては救済のために: デニ・ムクウェゲ自伝』あすなろ書房。
- 道傳愛子(2020)「ムクウェゲ医師"コロナ感染拡大で性暴力が悪化"」 『国際報道 世界がわかる 明日が見える』NHKBS1。 https://www.nhk.or.jp/kokusaihoudou/archive/2020/09/0924.html
- サダブラティまや・歌橋智也(2020)「インタビュー 2018年ノーベル 平和賞受賞者 デニ・ムクウェゲー女性への性暴力と戦う」『聖教新聞』 2020年12月22日

https://www.seikyoonline.com/article/87411124722BA906B090820E15AE5B0F

- 朴順梨(2019)「『レイプは人類の恥であり、女性だけの危機ではない』 デニ・ムクウェゲ医師は訴える」『ハフポスト』2019年10月25日 https://www.huffingtonpost.jp/entry/mukwege_jp_5db169d8e4b0d5b789466ea1
- ピースボート「2018年ノーベル平和賞受賞者 デニ・ムクウェゲ医師の 広島訪問をサポートしました」 『ピースボートWEB』 2019年12月22日 https://peaceboat.org/30218.html
- コンゴの性暴力と紛争を考える会(2019)「10/3 デニ・ムクウェゲ医師による記者会見 日本語訳」『2019年ムクウェゲ医師来日報告書』 RITA-Congoホームページ https://congomm2016.wixsite.com/asvcc/blank-3